

- 問1 福岡県の工業は、1970年から2020年にかけてその構造が大きく変化しました。1970年時点では製造品出荷額において鉄鋼が大きな割合を占めていましたが、2020年には自動車などの生産を中心とする工業分野が県内最大の割合を占めるようになっていきます。この、近年福岡県で成長が著しい工業分野の名称を次の中から選びなさい。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. せんい工業                      2. 食料品                      3. 輸送用機械                      4. 化学工業
- 
- 問2 北九州工業地域の工業出荷額を産業別に見た際、機械工業や金属工業とともに主要な割合を占める産業があります。この産業の工場が、福岡県北九州周辺の沿岸部に集中して分布している主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 製品の鮮度を保つ必要があり、消費地である都市部に隣接しているため                      2. 内陸部と比較して地価が高く、企業としてのブランドイメージが高まるため                      3. 海外から輸入する原料の搬入や、完成した製品の船舶輸送に便利のため                      4. 原料となる農産物を、近隣の平野部から短時間で集荷できるため
- 
- 問3 九州地方の各県の産業について述べた次の説明のうち、宮崎県と福岡県の特徴を正しく組み合わせたものはどれですか。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 宮崎県は平野部を中心に稲作が盛んで米の産出額が九州で最も多く、福岡県は畜産が県内の農業の大部分を占めている。                      2. 宮崎県は工業出荷額が九州地方の中で最大規模であり、福岡県は農業産出額において米の産出額が畜産を上回っている。                      3. 宮崎県は農業産出額において畜産の占める割合が非常に高く、福岡県は九州地方で最大の工業出荷額を誇っている。                      4. 宮崎県と福岡県はともに農業産出額のうち米の割合が最も高く、工業については佐賀県の出荷額が九州で最大である。
- 
- 問4 ある地域に関する統計資料において、人口増減率がプラス〇点四七パーセントを示し、製造品出荷額が他の地域と比較して低い一方で、海面漁業や畜産の産出額が一定の規模を持つ都道府県はどこですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
1. 東京都                      2. 沖縄県                      3. 鹿児島県                      4. 北海道
- 
- 問5 日本国内のアメリカ軍専用施設面積の約70%が沖縄県に集中している現状に関連して、その背景や課題に関する記述として最も適切なものはどれですか。 (2023年 北海道公立入試 類似)
1. アメリカ軍基地のほとんどは人が住んでいない離島に設置されているため、都市開発への影響は限定的である。                      2. 沖縄県の面積は日本全体の約10%を占めているため、面積比で見れば基地の割合は他県と同水準である。                      3. サンフランシスコ平和条約の発効と同時にすべての基地が本土へ移転したため、現在は沖縄県の負担は解消されている。                      4. 1972年の本土復帰後も多くの施設が維持され、騒音や事故、跡地利用の制約などが住民生活に影響を与えている。
- 
- 問6 日本の諸地域の気候を統計資料から判別する場合、宮崎県（宮崎市）のデータに該当する特徴的な数値の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 8月の平均気温は約28度まで上がるが、年間の降水量は1200mm程度と非常に少ない。                      2. 1月の平均気温が氷点下となり、年間の降水量は季節による大きな変動がなく一定である。                      3. 1月の平均気温が約5度であり、1月から2月にかけての降水量が1年で最も多い。                      4. 1月の平均気温が約10度と高く、さらに6月と9月に降水量の大きなピークが見られる。
- 
- 問7 日本の南西諸島に見られる自然環境について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。沖縄県や鹿児島県の奄美大島において、新しい観光資源としても注目されている、亜熱帯地域の海岸付近や河口の湿地に見られる樹木群の名称を含んだものを選びなさい。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. マングローブは、塩分を含む水域に適応した樹木群であり、独特の生態系を形成している。                      2. ブナの原生林は、亜熱帯の海岸付近で見られる代表的な植物であり、湿地帯に自生している。                      3. サング礁は、河口付近の泥が堆積した湿地において、樹木とともに森を形成している。                      4. 針葉樹林は、温暖な気候の南西諸島において、海岸線の砂浜に広く分布している。
- 
- 問8 佐賀平野などの農業で見られる、同じ耕地を利用して4月から6月にかけては麦を栽培し、その収穫が終わった後の夏から秋にかけて米を栽培するという、1年間に2種類の異なる農作物を育てる方法を何といいますか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 単作                      2. 促成栽培                      3. 二期作                      4. 二毛作
- 
- 問9 高知県や宮崎県では、冬季でも温暖な気候とビニールハウスなどの施設を利用することで、ピーマンやナスなどの作物を本来の時期よりも早く栽培・収穫して出荷しています。このような栽培方法を何といいますか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
1. 抑制栽培                      2. 二毛作                      3. 露地栽培                      4. 促成栽培
- 
- 問10 中国・四国地方と九州地方の産業統計を比較したとき、それぞれの地方の特色について正しく説明しているものはどれですか。なお、統計において中国・四国地方の工業出荷額は約36.7兆円、九州地方は約25.7兆円となっています。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 中国・四国地方は九州地方に比べて人口が多く、農業生産額も工業出荷額も九州地方を上回っている。                      2. 九州地方は中国・四国地方に比べて人口が多く、農業生産額も大きいですが、工業出荷額は中国・四国地方の方が大きい。                      3. 九州地方は中国・四国地方に比べて農業生産額は小さいが、工業出荷額と人口において中国・四国地方を大きく上回っている。                      4. 中国・四国地方と九州地方を比較すると、人口、農業生産額、工業出荷額のすべての項目において九州地方が中国・四国地方を上回っている。
- 
- 問11 宮崎県では、沖合を流れる黒潮（日本海流）の影響を受けた温暖な気候を利用して、ピーマンなどの野菜栽培が盛んに行われています。このような農業の形態として最も適切な名称はどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. 園芸農業                      2. 近郊農業                      3. 稲作                      4. 酪農
- 
- 問12 鹿児島県において、近年、福岡市や大阪市などの都市部からの観光客やビジネス利用が増加した交通インフラの変化として、最も関係が深いものはどれですか。 (2016年 高知県公立入試 類似)
1. 県内のすべての主要駅を結ぶ路面電車網が、新幹線と同等の速度に改良されたこと                      2. 九州新幹線が全線開通し、博多駅や新大阪駅との接続が強化されたこと                      3. シラス台地を横断する日本初の自動運転専用的高速道路が整備されたこと                      4. 桜島と市街地を結ぶ巨大な海底トンネルが開通し、物流が効率化されたこと
- 
- 問13 九州地方の各県の発電構成を比較した統計において、火力発電量が約13,500百万kWhと非常に多く、水力や風力も利用されている一方で、特定の集計区分によって地熱発電の数値が「0」と示されている県はどこですか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
1. 秋田県                      2. 福島県                      3. 大分県                      4. 鹿児島県